

手稲山の麓に広がる泥炭地を開拓して住宅地となってるこの辺りは、四季それぞれの姿を見せる自然豊かな手稲山を望む地域です。

かつては原っぱにヒバリがさえずり、林にカッコウの声を聴いていましたが、今はもう自然らしいものを探したら堤防の中を流れる川しかなくなっていました。

そうは言っても手稲山の森と海をつなぐ川です。子供も大人も一緒に生き物を探したり、自然に戻せる活動をしたいと思い、とにかくできることから始めてみました。

よく見るといろんな生き物や新しい発見がいっぱいです。大人も子供の頃の自分に帰って大はしゃぎです。

始めて2年目の、そんな楽しい活動をご紹介します。



2005年秋の活動

<川の生きもの調べ>

案内人:大塚 武(スタッフ、北海道工業大学大学院)

手稲山から流れる川で、どんな場所にどんな生き物がいるか、川に入って調べてみます。

2004年は、網などで探したり、北海道工業大学の研究者に投網・電気ショッカーによる調査を見せてもらいました。

2005年は3回にわたり、中の川と星置川で、魚やその他の生きものを調べました。

9月11日(日) 川の生きもの調べ(3)



10:00 ~ 12:00 中の川(共栄橋下)星置川(ほしみ橋下)

今年の川の生きもの探しも3回目。「探検隊記録帳」を配り、約束と簡単な説明をして、さっそく中の川に入ります。

初めての子供や大人に、前に来ている子供達がポイントを教えたりしながら、トミヨやトウヨシノボリ、ウキゴリ、それにスジエビ、外来種のヌマエビなどもつぎつぎ捕まります。

さて、一回岸に上がって、みんなが見つけた生きものを集めて、ひとつひとつ見ていきます。この魚はどんな特徴がありますか？



それぞれに魚やエビの特徴と生態などについて教わり、「探検隊記録帳」に書き込みました。

このあと、枝を5m流して流速を測って、水質を見るための水を採取しました。

途中、手稲土功川で水を採取して、こんどは星置川に向かいました。

中の川は砂の多い川だったけど、星置川は石ころが多い川。違いはあるかな？またそれぞれに生きものを追いかけて散っていきます。



アクアスコープで魚が見えるかな？あーっ、いるいる！！追いかけるお！など大人も子供も大はしゃぎ。

ここでは人気者モクズガニも見つけ、また皆で捕まえた生きものを見ていきました。

5つの川の水質検査もして、それぞれ少しずつ違うことを知りました。



お昼は秋の陽射しのもと、川原でゆっくり持ち寄った肉や魚を焼いて、ひととき愉しく過ごしました。

2005年秋の活動

10月23日(日) 森でタネ拾い、川原でタネ播き



10:00 ~ 13:30 富丘西公園、星置川(ほしみ橋下)

手稲山の麓に残された雑木林の公園、すずらんの自生地としても有名な富丘西公園で生きもの探しと、林の樹のタネ拾いをしました。

紅葉の始まった林の中を、生きもの探しをしながら散歩しました。落ちていたタネも探しながら歩くのですが、全道的に実りの悪かったこの秋、なかなか多くのタネは落ちていません。



ナナカマドの実の中いくつかのタネが入っているかクイズや途中木登りなどもしながらタネ集めをしました。

集めたタネを持って、いつものフィールド星置川に移動しました。

歩き回ってお腹が空いたので先に昼食にすることにして、ホッキ貝などの豪華海鮮汁と焼き芋に舌鼓を打ちました。



<今回採れたタネ>
ホオノキ、クリ、アズキナシ
ミズナラ、イタヤカエド、ナナカマド



食後、ミズナラのドングリを播きました。手稲山から緑の回廊が川に沿って、街に石狩平野に広がっていくことを願いながら。



遡上したサクラマスが、寿命を全うしていました…



12月3日(日) 草苺さんの癒しの森へ



10:30 ~ 15:00 苫小牧東部 草苺 健さんのコナラ雑木林

まず火を起こし、席を作ったあと、焚火を囲んで草苺さんのお話を聴きました。時折近づいてくるカラの混群の鳴き声と届きそうに飛びゆく千歳に下りる飛行機の音…

手入れされたコナラ林を歩き、時々立ち止まり、手入れしていない林なども見せていただきながら、緩やかなフットパスを30~40分歩いて小屋に戻りました。

心がなんか解放されていくのを感じます。

焚火を囲んでお昼にしました。よく乾いたコナラの薪は、とても凄い火力です。サラガイのお味噌汁、それぞれ持ち寄った材料で焼き鳥、ソーゼージ、焼き芋を美味しくいただき、O氏が漬けた漬物に舌鼓。

スタッフのGは、佐藤初女さんのイスキアの森のようだと大喜び。



とてもステキな小屋(ケアハウス)の横で、食後に薪割りもしました。パーン!と割れた時の、何ともいえぬカタルシス…

本当に素敵な時間を過ごせました。草苺さんの「もてなしの心」に感謝しつつ、自分を取り戻した一日でした。

新緑の季節に再訪することを心に決め、家路につきました。



2006年冬の活動

3月19日(日) 手稲山の雪の林で春を探そう



10:00～13:30 軽川上流 稲雲高校上の森

雨の予報の中、今年初の生きもの探し。スノーシューを履き、空模様を気にしながらスタート。

まずは新企画、目隠しをして予め林の中に張ってあるロープを辿ります。参加者の「えええ～っ！」と言う声にめげず目隠ししてもらいます。そうすると聞こえる音、触った感じ、匂い、明るさ、陽のぬくもり、風の冷たさが一層感じられるのです。木の幹のさわり心地や冬芽の形、顔に触るブラ下がった蔓。目隠しを取り、想像したのと比べてみました。

そして恒例アイスクリーム作り。肥料袋に材料を入れたペットボトルと雪と塩を入れて、みんなで投げたり蹴ったりします。くたくたになって、さて開けて嬉しい美味しいシェイク。女の子達が白菜とベーコンのスープを作ってくれて、いただきます～す！



そのあと急に晴れてきたので、尾根まで登ることにしました。続いていた暖気のせいで動物達の足跡はわかりませんでしたが、蔓の絡まる隠れ家にもぐったり、木によじ登ったり、蔓でリースを作ったりしながら、早春の陽射しと歩きやすい雪を満喫しました。



2005年秋～2006年冬 その他の活動

11月5日(土) 道民森づくりネットワークの集い

実行委員として参加し、道庁赤レンガ前の「森のテント村」に「森のマイスター」として出展しました。

「このタネなんの木？」や「ドングリ苗木づくり体験」綺麗な落ち葉を集めて「紙漉き葉書作り」それとももちろん手稲さと川探検隊の活動紹介をしました。多くの来店者が訪れ、たいへん好評でした。



2月17日(金) 北海道札幌土木現業所事業課で意見交換

中の川や星置川を管理している札幌土木現業所事業課(西区西野)の沼田主任技師の要請で、十数名の技術者の方と意見交換しました。



3月17日(金) 【講演会】河畔林と川の生きものの関わり

北海道環境サポートセンターの多目的ホールにて、北海道立林業試験場流域保全科長の長坂 有 氏を招いて「河畔林と川の生きものの関わり」について講演会を開催しました。

河川と周囲に広がる河畔林での食物連鎖、最近活用されている窒素安定同位体から海・山由来の判定、実践的な河畔林の作りかたまで、興味深い話に聴き入りました。特にサケ科魚類の鰓に幼生時に寄生するカワシジユガイ(アイヌ語:ピパ)の話で参加者一同盛り上がりしました。

3月21日(祝) 2006『TEINE de あったカフェ』主催:手稲新聞車

北海道工業大学 HITプラザで行なわれ、手稲区内で活動する福祉関連などの団体とともに、活動紹介のパネル参加しました。

樹木の苗の育成



～地域に自生している樹木から
採ったタネを播いて育てています～

街の中を流れる川にはもう河畔林もなく、そもそもこの辺りには林もなく、だからもともと棲んでいた生き物はいなくなっていました。川の周りに兎や鳥たちが住める林があったら、それが手稲山からつながったら、札幌の周りをぐるりとつながったら、素晴らしいと思います。中の川 横に整備される新発寒桜川でも植えていきたいと考えてます。苗木づくりは誰もが参加できる活動。様々な人達と活動していきます。

<今、育てている樹種> オニグルミ、ミズナラ、ホオノキ、ケヤマハンノキ、イタヤカエデ、ハルニレなど



2006年春～秋 主な活動予定

- 5月 20日 春の林へ(苫小牧東部草苺さんの新緑の雑木林の散策)
- 6月 17日 手稲山の生きもの調べ
- 7月 15日 川の生きもの調べ(1)
- 8月 19日 川の生きもの調べ(2)
- 9月 16日 川の生きもの調べ(3)
- 10月 21日 手稲山 樹のタネ拾いとタネ播き

日程は、状況により変更する事があります。事前にご確認下さい。

手稲の川で見つけた生き物たち

これまでの川の生きもの調べで採集された おもな生き物たちを紹介します。

ウグイ	コイ科
ハナカジカ	カジカ科
フクドジョウ	ドジョウ科
ドジョウ	ドジョウ科
シマウキゴリ	ハゼ科
トヨシノボリ	ハゼ科
サクラマス(ヤマメ)	サケ科
エゾトミヨ	トゲウオ科
イバラトミヨ	トゲウオ科
モクズガニ	イワガニ科
スジエビ	テナガエビ科
ヌマエビ	ヌマエビ科
ミナミヌマエビ	ヌマエビ科
ヘビトンボ	ヘビトンボ科



サクラマス(ヤマメ)



目がかわいいトヨシノボリ



トミヨ類



モクズガニ



清流に棲むヘビトンボ幼虫

会員募集中!

手稲さと川探検隊の仲間になりませんか?

手稲さと川探検隊では、2006年度の会員とボランティア・スタッフを募集しています。

1. 探検隊員: 川の生きもの調べなどのイベントに参加できる方

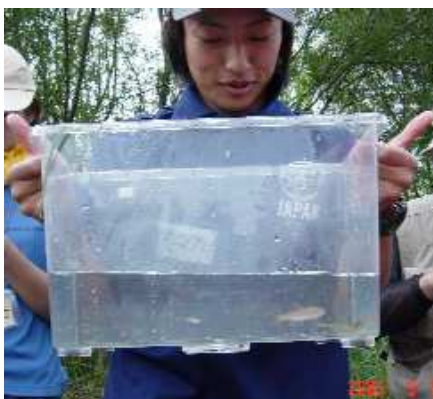
入会金: 100円、年会費: 大人200円 子供100円

全てのイベント案内が届き、参加料(保険代200円を除く100~200円)が無料となります。

2. 応援隊員: 手稲さと川探検隊の活動を応援して下さる方

活動応援費: 1口 500円 イベント等のご案内、ニュースレターの送付などをさせていただきます。

3. ボランティア・スタッフ: 各イベントの企画・実施サポート、広報などお手伝いして下さる方



手稲さと川探検隊

市民活動サポートセンター登録No.40741

代表 鈴木 玲 Suzuki Akira

E-mail aasuzuki@pop11.odn.ne.jp

Tel 080-1891-7847 Fax 011-684-4487

〒006-0807 札幌市手稲区新発寒7条6丁目8-19

手稲さと川探検隊ホームページ

<http://t-satogawa.hp.infoseek.co.jp/>